

□

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

森 博嗣（もり・ひろし）『読書の価値』の一節

--

--

(一) (一) ① に入る語句を本文中から漢字二字で抜き出して答えなさい。

(二) ② 文章の本来の役目 とは何ですか。「くこと。」に続くように本文中から抜き出して答えなさい。

(三) ③ 自分の文章をいくら読み直しても、わかりやすいか、誤解が生じないか、を確かめることはけっこう難しいものだ とありますが、確かめるためには何が必要ですか。本文中から二十一字で抜き出して答えなさい。

(四) (一) ④ (一) ⑤ には同じ語句が入ります。本文中から漢字三字で抜き出して答えなさい。

(五) ⑥ 話す相手がその場にいない状況になると、途端に難しくなる とありますが、それはなぜですか。その理由を本文中の言葉を用いて答えなさい。

(六) ⑦ 頭にきちやった! について次の問いに答えなさい。

(1) この言葉は二通りの意味にとらえられています。それぞれの意味を説明しなさい。

(2) なぜ二通りの意味にとらえられることになってしまったのですか。その理由を本文中の言葉を用いて三十字以内で答えなさい。

二

次の文章は、小説『青いスタートライン』（高田由紀子作）の四つの場面です。文章を読んで後の問いに答えなさい。

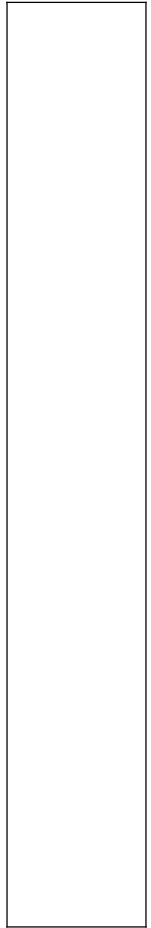
高田由紀子（たかだ・ゆきこ）『青いスタートライン』の一節

--

--

--

--



(一) ハルにあつさり認められる^① とありますが、「ハル」に何を認められたのですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「竜也」に対して「ぼく」と同じことを「ハル」自身も感じていること。

イ 「竜也」に「ぼく」がひどい言葉でいじめられているということ。

ウ 「竜也」が言うように、「ぼく」にはゲームのセンスがないこと。

エ 自分より強い相手に、「ぼく」が言いたいことを直接言う勇気がないこと。

オ 「ぼく」が「ハル」自身のアドバイスをまったく聞かなかったこと。

(二) ぐにやりと丸めていた背をのびし、パンフレットをまつすぐにした^② とありますが、「ぼく」のどのような気持ちを表したのですか。説明しなさい。

(三) 【Ⅰ】の場面の「ぼく」の様子と【Ⅲ】の場面の「ぼく」の様子はどのように変化していますか。説明しなさい。

(四) ぼくは、種をまけたのかな^③ について、次の問いに答えなさい。

(1) 「種」とは何だと思えますか。答えなさい。

(2) 「ぼく」の中に「種」がまかれたことを具体的なものにおきかえて表されている部分を本文中から六字で抜き出しなさい。

(五) この文章の特徴^{とくちよう}にあてはまらないものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「ぼく」の視点でのみ描かれており、自分のことしか考えられない「ぼく」の性格が強調されている。

イ 短文や会話を多く使い、その時その時の「ぼく」の気持ちをはつきりと描かれており、感情移入をしやすくしている。

ウ 「…」や「」を用いて、読者に登場人物の気持ちを想像させて、話に入り込みやすくしている。

エ 多くの人物を登場させて、「ぼく」のおかれた状況とその時々^{ときとき}の気持ちを表している。

